



木童通信 vol.29

平成 22 年 10 月 発行

木童 東京ショールーム
 open 月～金 10:00-18:00 ± 11:00-17:00
 close 日・祝 (事前予約いただければ日祝の見学も可能です)
 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ 1F
 TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126
 URL:http://www.kodoh.co.jp E-mail:Tokyo@kodoh.co.jp

★木童に届いた「う〜ん」クレーム?いろいろ

その1:国産材?輸入材?



先日もこんなことが有りました。2.3M×w450m/m×t40m/mのくりの板木を、家具、テーブル用に荒材の耳付き板で届けました、納品当日は、設計士さん、施主さんと板木を1枚1枚確認しました。

その2日後、設計士さんから「国産のくり材じゃないんだろう?」と、少し不機嫌そうに電話が入りました。理由は、大工さんがそう言ったとのこと。

「ふう、またか」です。「国産です。秋田・岩手ではこの近辺の山々のヒノキのように豊富にあります。また、中国も最近では丸太で輸出はしないようです」

「あ、そうなの」なんとか理解してくれたようです、しかし、なぜ、大工さんの俺は知っているレベルの言葉を鵜呑みにしてしまうのでしょうか。ちょっと、不満です。

その2:「アテが入っていて使えねえ!」



土佐梅の床材を納材した現場に赴き、聞いた第一声がこれです。簡単に言うと、土佐梅は※アテ材ではないのですが、アテ材のように見える材が多く入っており、そこが魅力なのです。300年〜500年も育った梅は、太る限界を超えて年輪が増えるため、中で押し合いへし合いが起こり独特の木目が出来ます。それをアテと見当つた大工さんが先の発言をされたのです。説得して、使ってもらって、2年後に訪問したところ、板と板との間も隙かず、良好とのことでした。

※アテ材:雪や強風などにより、樹幹が傾くと支えようと応力が発生し、異常な木材組織を作る。その部分をアテ材と言う。

その3:「え、なんでそんなに遅くなるの?」

本当に良く言われる台詞です。カタログに載っている製品ではなく、よくある4寸角の柱でもない、例えば、ヒノキ無節の框材、例) 1.2m×w90m/m×t60m/mは、納品まで3週間かかります。その内訳は、製材1日、乾燥2週間、養生5日であり、どの工程も必要な期間です。「大きく木取った材で在庫しておけば良いのでは?」とも言われますが、捨てる部分が多くなると確実に高くなります。また、削って小さくした所に節が出てきて、要求された無節材で無くなり、売れなくなってしまうということもあります。ですから、この短縮出来ない部分の最低3週間の納期を見てくださいますようお願いいたします。もちろん、材種や木取り、量によっても変わりますが、良い材を安価で手に入れる秘訣は、**必要納期を知る事**と言えます。

ここで、総論。

今回のくり材は、国産広葉樹材専門の主に家具用材の製材所からの材です。そして、工場にはすべてのスタッフも足を運び、木童との信頼関係も構築されています。木材の処処に関しては木童と木童の仲間を信頼ください。

また国産梅材は、関東ではとっても珍しい材と云えます、扱った事の無い大工さんがほとんどだと思います。

木のことは木のプロに! 木童は木材のプロだと自負しています。希望される材の大きさ、樹種、使用場所、予算等の情報をいただければ、木に対する助言を含めて、お答えさせていただきますのでぜひご活用ください。

★「木童の超・撥水」暴露実験その後の報告

デッキを施工し、塗装して1年経過しました。半年前のクリアー塗装後のメンテナンスはしてありません。



1年後の状態



1年後の状態



1年後の状態



半年前の状態

特に着色した部分は、大きな変化は認められません。クリアー塗装の部分も、全体にグレーに変化した状態のままです。ビスを打ち込んだ部分のみ、黒く変色しています。今回は、塗装せず、観察のみとしました。

★New Open 「天衣無縫 青山店」 設計:テラハヤシ・セツキ・ジムシヨ 施工:みどり建設

青山の店舗改修現場で「能登ひば」のご注文があった時「店舗?ひば?」でてっきり飲食店だと思い込んでいました。これは完全に勘違いで...実際はオーガニック Cottonの専門店。(確かに店舗名から想像できません...) タオル・衣服・ぬいぐるみなど女性なら長居してしまいそうなお店です。青山にお出かけの際は是非覗いてみてくださいね。



白木の節のあるヒバ材が美しい



さて、ふらっとお店に立ち寄ったら、なんと偶然この店舗の設計士、寺林さんがいらっしゃいました。「良い意味で青山らしくないって言われるんだよね〜」といつも気さくな感じで話してくださり、確かに白木の節のある材の壁と建具の外観が、洗練された青山の空間の中でほっと落ち着く印象を受けました。

外壁とレジ裏の壁に使われているのは能登ひば(節有)ですが、外部は店の顔として仮並べをして選んだ1枚1枚をすっきりと見せる様張りあげ、内部は切り残りの材も含めて歩留まり良く、バランス良く継ぎ合わせて使っております。このこだわりぶりは工務店さんの提案であり、センスを感じます。また、内外装含めて木部の塗装はすべて「木童の超・撥水(クリアー)仕上げ」。木に色を付けない「木童の超・撥水(クリアー)仕上げ」はシナランバー製の什器も無塗装のように白いままで、主張すること無く保護され、能登ひばもその独特の光沢感を失っておりません。これには設計士さんも大満足していただけているようです。

天衣無縫 青山店 港区北青山3-15-9 tel:03(5778)9297 http://shop.tenimuhou.jp

★New Open II 「オルカカフェ」 設計:スペースマシン空間機械研究所

スペースマシン空間機械研究所主宰の北澤さんの弟・至さんが手掛けるカフェ兼多目的スペースが10月16日オープンします。先日塗装のご相談があり現場で打ち合わせしてきました。北澤さんには以前もマンションリフォームで「からパネル」をアツと驚く使われ方をされ、今回もからパネル満載で様々な利用をされています。食器棚や間仕切り、票一枚板テーブルの脚...。小上がり2Fは何の空間?それは是非行って聞いてみてください。「木童さんも横浜に来たら休憩に、営業に使いなよ。(少しネタバレ)」と言って頂き、確かにお客さんとの打ち合わせにも使いやすいかもと、木童の横浜営業所的な使い方を夢見た一日でした。



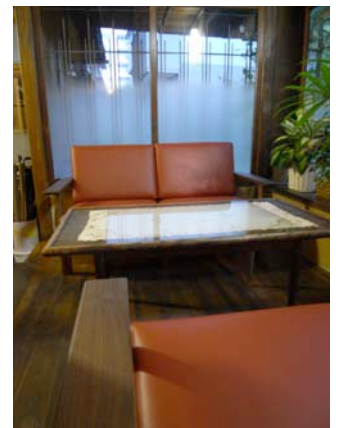
からパネルを加工して制作された数々の部材が楽しい

オルカカフェ 横浜市中区山下町25-4ハルラ1F お問い合わせ先:オルカプロダクション045-222-0393

★ソファに座って...

椅子は座らないと分からない、ましてソファなら尚更!と考える人は多いでしょう。先月のリニューアルより、ショールーム前の一番目立つ所にどんと置かれたユニットタイプのソファは、杉のベンチと並んで、早くも木童の顔となりました。このソファ、ユニットとある通り、すべてのパーツが別売りで、各家庭に合わせてカスタマイズできるのが便利な所です。

例えば3人掛け用として本体を3つお求めいただき、数年後に2人掛けと1人掛けに分けて使う事が可能。その時アームだけを追加で御注文いただくことができます。また逆に2人掛けと1人掛けとを合わせて3人掛けソファにすることももちろんOK。そして何よりホンモノの質感があるという点が高評価の一番の理由と思われる。リクエストにお応えして、近々オットマンも並ぶ予定です。実物ソファに座ってぜひゆっくりご検討下さいませ。



木童 NEWS ラインナップ

■無料家づくり相談会のご案内 10・11月開催日:10/2(土)・10/30(土)・11/6(土)・11/27(土)

企画展のご案内

■第90回企画展 9/27(月)~10/2(土)「木とじっくり 適材適所に上手に使った家づくり」展 NPO法人木の家だいきの会

■第91回企画展 10/9(土)~27(水)「いえ いえ 家」展2 日本建築家協会(JIA)関東甲信越支部住宅部会

■第92回企画展 11/1(月)~6(土) NPO法人木の家だいきの会さんの展示予定

■第93回企画展 未定

■木童通信をHPよりダウンロードできるようになりました。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。